

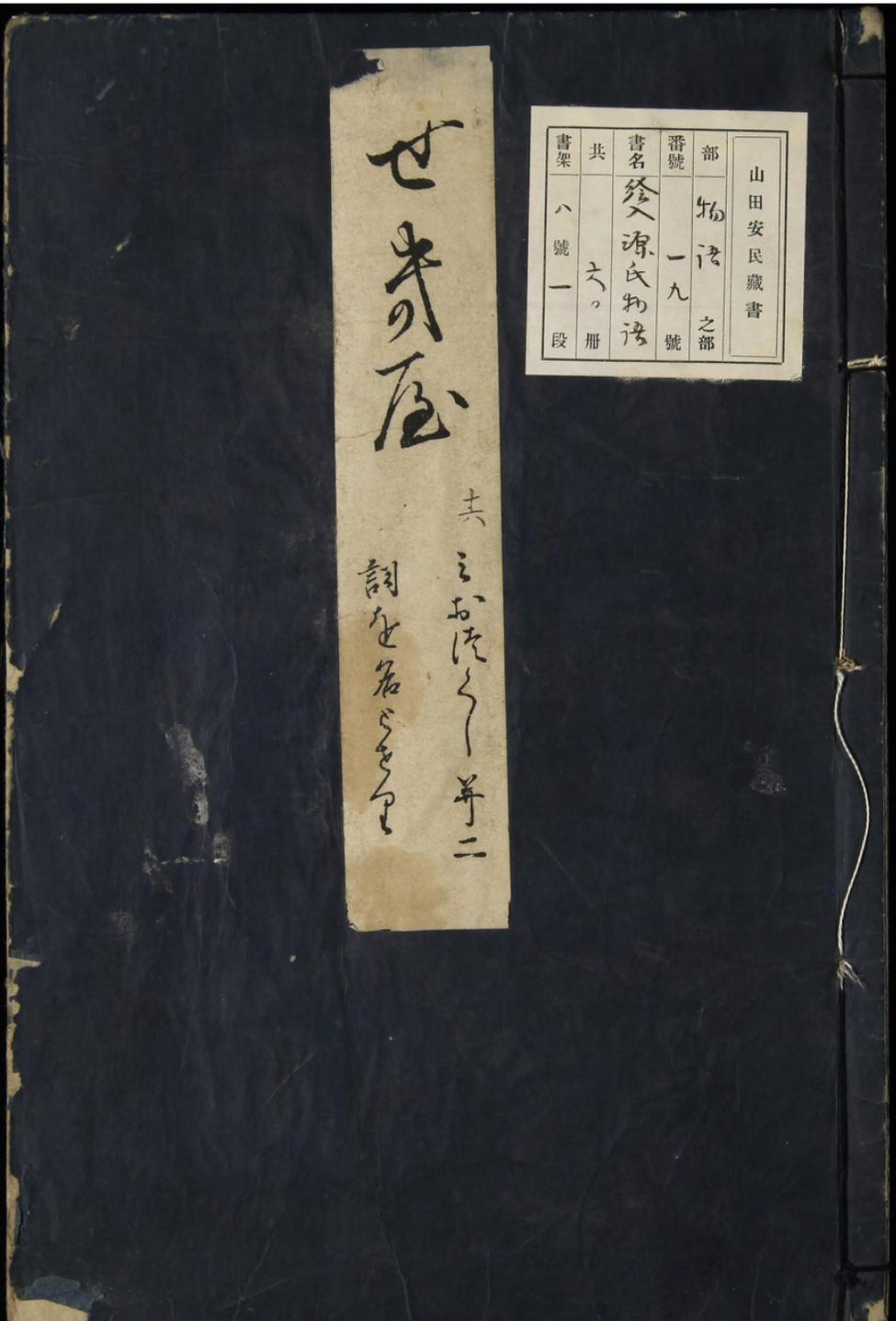
# 絵入源氏物語

## 卷十六 せき屋

梶山女学園大学デジタルライブラリー

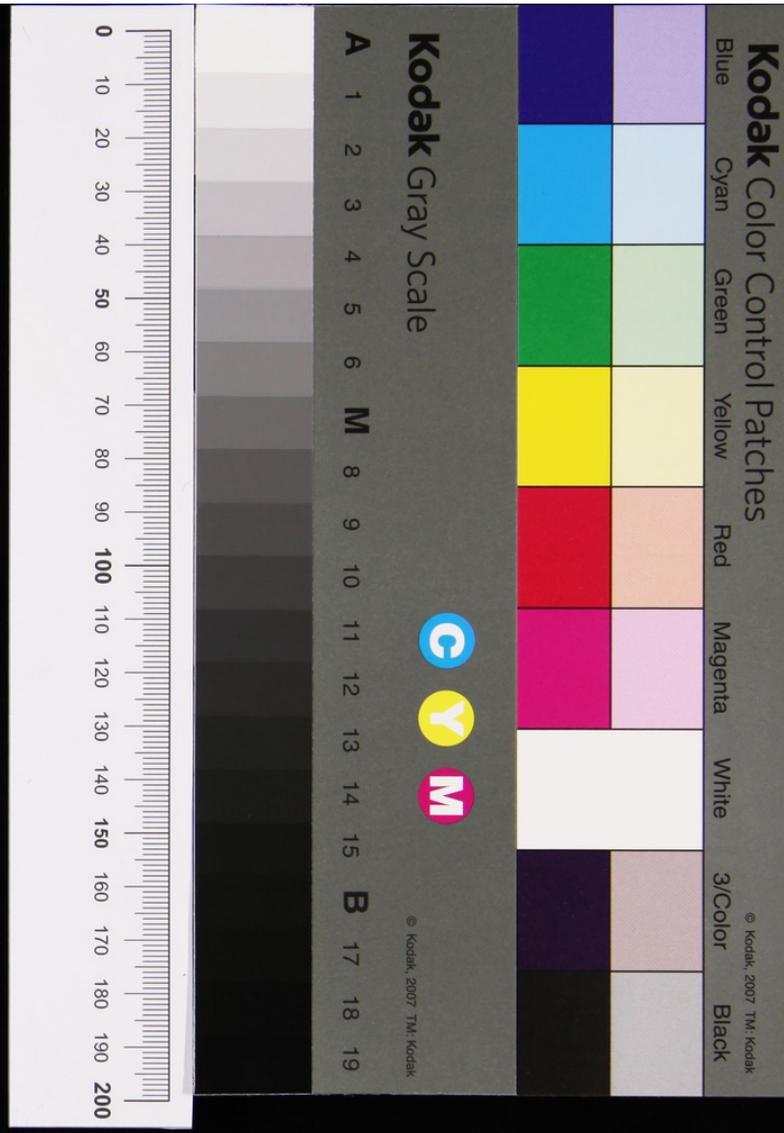
梶山女学園大学図書館

絵入源氏物語 一六巻



山田安民藏書	
部	物語 之部
番號	一九號
書名	繪入源氏物語
共	六冊
書架	ハ號一段

世の屋  
 共  
 三  
 二  
 詞  
 名  
 二  
 年  
 二





びくくよききり人びこの数くまうで踏べーと  
 つげれびんちのゆびさばぐーるらんもれぞと  
 てまぶあふさよりつそぎけつを女車おゆく  
 不きりゆりぶらうよ目つけぬらりぞのまゆ々  
 ゆびよあひあさ山えぬぬそやれぞんの人び  
 ちとさりあへずさうえぬれびんち山よいあさくされあり  
 わてさうーこの秋のまきま車どよりさあう  
 まぶれよわーこまりてまぐーまふらるゆ  
 らぶくさへいさうーささまよそやちびちこれだ  
 れふいひろくも車十どりぞ袖ぐらちもの色  
 わひちびとまりせやさうお中ほんびびどよりまき

三

秋あきのぬらざりちよぞやうのありのまれさうゆ  
 きーせらるほきもくせよさう人お給たまはひー  
 さよさすもちまのごぜん前まへもれめさめさり九月  
 けこもりわれびもろ葉はの色こさまを霜しもづれのま  
 ひくくめーさうさうさう山やまよりまさ  
 らづれせうむ振むすぶだの色このあをのつさぐ  
 まさあひ地ちらつせ凍このまゆもさうさうなぶさう  
 らもほ車くるまいすこれがらーわやれじーのこいあさくさき  
 望のぞみのぞつつのすけちるせりさうさうほふほれ  
 関せきむむへへええひひささやや路ぢりりぶぶのの路ぢれれううの  
 うらつとあされよおへーせらるさうあふれど



夕三

習をざうをとてひちをちをも人をちれをずをじをうをのを  
 目をすれをねをがをざりをみをてをれをあをもをれをちをりを  
 ちをぬをちを米をとを人をいをらをんをえをちをりを終をりをぐをうをとをたを  
 ちをうをいをらをんをひをちをりを







